

# 第37回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会プログラム

## 特別講演・理事長講演

第一会場 [ 一橋講堂 ]

2月14日(金) 13:30~14:30

座長：棚橋 汀路 (日本聴能言語福祉学院 学院長)

『嚥下障害のリハビリテーション - 運動学習とゴール』

藤島 一郎 (浜松市リハビリテーション病院)

## シンポジウム『高齢者の嚥下障害』

第一会場 [ 一橋講堂 ]

2月14日(金) 10:00~12:00

座長：山脇 正永 (京都府立医科大学 総合医療・医学教育学)

大森 孝一 (福島県立医科大学 耳鼻咽喉科)

『高齢者の誤嚥性肺炎の真実』

寺本 信嗣 (筑波大学附属病院 ひたちなか社会連携教育研究センター)

『ケアサイクル論で捉え直す嚥下と食』

長谷川敏彦 (日本医科大学 特任教授)

『高齢者と嚥下障害 ~ 高齢者専門急性期病院の立場から ~』

木村百合香 (東京都健康長寿医療センター 耳鼻咽喉科)

『在宅医療 - 耳鼻咽喉科診療所の在宅嚥下障害への対応 -』

西山耕一郎 (横浜市)

『高齢者誤嚥に対する外科的治療としての誤嚥防止術 — 声門閉鎖術の適応と術後経過 —』

鹿野 真人 (大原総合病院 耳鼻咽喉科・頭頸部顔面外科)

## パネルディスカッション『ケースカンファレンス：嚥下障害への対応をどうするか』

第一会場 [ 一橋講堂 ]

2月15日(土) 13:00~15:00

座長：兵頭 政光 (高知大学医学部 耳鼻咽喉科)

藤谷 順子 (国際医療研究センター リハビリテーション科)

津田 豪太 (福井県済生会病院)

谷口 洋 (慈恵医科大学附属柏病院)

重松 孝 (浜松市リハビリテーション病院)

清水 充子 (埼玉県総合リハビリテーションセンター)

## 教育セミナー 1

第一会場 [ 一橋講堂 ]

2月14日(金) 14:30~15:30

司会：加藤 孝邦 (東京慈恵会医科大学 耳鼻咽喉科)

『食道疾患と嚥下障害』

河野 辰幸 (東京医科歯科大学 食道・一般外科学分野)

## 教育セミナー 2

第一会場 [ 一橋講堂 ]

2月15日(土) 11:00~12:00

司会：越久 仁敬 (兵庫医科大学 生理学生体機能部門)

『嚥下性肺炎の病態』

稲瀬 直彦 (東京医科歯科大学 統合呼吸器病学分野)

## ランチョンセミナー

第二会場 [ 中会議場2~4 ]

2月15日(土) 12:00~13:00

司会：川端 一嘉 (がん研有明病院 頭頸科)

『頭頸部癌におけるアービタックス治療の有用性、嚥下機能への影響』

横田 知哉 (静岡がんセンター 消化器内科)

ポストコンGRESS・セミナー『頭頸部癌術後の嚥下障害を考える』

第一会場 [ 一橋講堂 ]

2月15日(土) 16:00~18:30

座長：丹生 健一（神戸大学大学院医学研究科 耳鼻咽喉科頭頸部外科）

『頭頸部癌治療による嚥下障害 - 総論 - 』

藤本 保志（名古屋大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科）

『舌切除再建における喉頭温存の現状と課題』

木股 敬裕（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 形成再建外科）

『頭頸部癌に対するリハビリテーション』

高橋 美貴（神戸大学医学部附属病院 リハビリテーション部）

『頭頸部がん術後の嚥下障害に対する看護師の対応』

妻木 浩美（静岡県立静岡がんセンター）

『頭頸部癌術後の嚥下サポートのための顎顔面補綴治療』

隅田 由香（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 顎顔面補綴学分野）

『術後嚥下困難への外科的対応』

梅崎 俊郎（九州大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科）

評議員会

1階 [ 特別会議室101・102 ]

2月14日(金) 12:00~13:00

総会

第一会場 [ 一橋講堂 ]

2月14日(金) 13:00~13:30

新理事会

1階 [ 特別会議室101 ]

2月15日(土) 12:00~12:30

2月14日(金) 9:00~10:00

第一会場 [ 一橋講堂 ]

第1群「頭頸部癌1」

座長：久 育男（京都府立医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室）

- 1-1 咽頭癌に対するELPS術後と放射線治療後の嚥下機能の比較  
山野 貴史（福岡大学筑紫病院 耳鼻いんこう科 / 医師）
- 1-2 経口的咽喉頭部分切除術( TOVS )術後の嚥下訓練の検討  
谷合 信一（防衛医科大学校 / 言語聴覚士）
- 1-3 経口的咽喉頭部分切除術前後嚥下機能の前方視的検討  
大上 研二（東海大学 医学部 耳鼻咽喉科 / 医師）
- 1-4 当科における喉頭温存下咽頭部分切除後の嚥下機能について  
別府 武（埼玉県立がんセンター 頭頸部外科 / 医師）
- 1-5 頭頸部癌に対する放射線化学療法および救済手術後の嚥下障害例の検討  
河本 勝之（鳥取大学 医学部 感覚運動医学講座 耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野 / 医師）

2月14日(金) 15:30~16:30

第一会場 [ 一橋講堂 ]

第2群「高齢者基礎」

座長：二藤 隆春（東京大学 耳鼻咽喉科学教室）

- 2-1 嚥下反射惹起の制御機序(1)—注意解除の影響について—  
齋藤 和也（熊本大学 教育学部 生涯スポーツ福祉課程 / 医師）
- 2-2 嚥下反射惹起の制御機序(2)—咬筋固有感覚の影響について—  
岳田ひかる（熊本大学 / 大学院生）
- 2-3 咽頭収縮筋の厚み計測とその加齢変化についての検討  
佐藤 伸宏（九州大学病院 / 言語聴覚士）
- 2-4 カプサイシン軟膏による外耳道刺激の反復が嚥下障害患者の嚥下機能と喀痰サブスタンスP濃度を与える影響  
陣内 自治（阿南共栄病院 耳鼻咽喉科 / 医師）
- 2-5 カプサイシン軟膏による外耳道刺激が嚥下障害患者の嚥下機能に与える影響  
近藤 英司（国立病院機構高知病院 耳鼻咽喉科 / 医師）

2月14日(金) 16:30~17:30

第一会場 [ 一橋講堂 ]

第3群「頭頸部癌2・リハビリテーション」

座長：大上 研二（東海大学 耳鼻咽喉科）

- 3-1 中咽頭、下咽頭、喉頭扁平上皮癌に対する化学放射線療法における摂食嚥下機能及びリハビリテーションの検討  
前田 恭子(山梨大学 / 言語聴覚士)
- 3-2 胸部食道癌術後の嚥下機能評価及び嚥下リハビリテーション介入の有用性  
立山 香織(大分大学 医学部 耳鼻咽喉科 / 医師)
- 3-3 下咽頭喉頭頸部食道摘出後の高度狭窄に対し、内視鏡下バルーン拡張術が有用であった1例  
小川 武則(東北大学 医学部 耳鼻咽喉・頭頸部外科 / 医師)
- 3-4 口腔癌切除再建術施行患者に対するケア基準の導入による効果  
青山 真弓(東海大学医学部付属病院 / 看護師)
- 3-5 食道癌術後患者に対するChin down手技の有効性  
—嚥下造影画像の咽頭腔閉鎖に着目した検討—  
亀之園佑太(熊本大学病院 / 言語聴覚士)

2月14日(金) 17:30~18:30

第一会場 [ 一橋講堂 ]

第4群「嚥下医療・リハビリテーション」

座長：堀口 利之（北里大学 医療衛生学部リハビリテーション学科 言語聴覚療法学専攻）

- 4-1 嚥下おでこ体操の他覚的效果  
金沢 英哲(浜松市リハビリテーション病院 えんげと声のセンター / 医師)
- 4-2 当院における嚥下障害患者に対するリハビリテーションの取り組み  
～耳鼻咽喉科医師としての参加の試み～  
杉浦むつみ(利定会 大久野病院 耳鼻咽喉科 / 医師)
- 4-3 嚥下内視鏡を用いた多職種協働による摂食嚥下機能評価の試み  
川島 理(医療法人 川島医院 耳鼻咽喉科 / 医師)
- 4-4 特別養護老人ホームにおける認知症高齢者の食事時の症状とその対策  
木村麻美子(社会福祉法人 公友会 葉山グリーンヒル / 栄養士)
- 4-5 急性期病院における誤嚥性肺炎患者の入院所在別の転帰  
近藤 知子(刈谷豊田総合病院 / 言語聴覚士)

2月14日(金) 9:00~10:00

第二会場 [ 中会議場2~4 ]

第5群「外科的治療1」

座長：湯本 英二（熊本大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科）

- 5-1 声門閉鎖術施行後の経口摂取に関する検討  
高野 真吾（国立国際医療研究センター 耳鼻咽喉科 / 医師）
- 5-2 当科における嚥下障害に対する外科的治療の検討  
横畠 悦子（高知大学 医学部 耳鼻咽喉科 / 医師）
- 5-3 当科における喉頭気管分離術の検討  
横山 純吉（順天堂大学 医学部 耳鼻咽喉・頭頸科 / 医師）
- 5-4 嚥下機能改善手術を行った症例の検討 ~ 術前完全に経管依存した症例に関して ~  
長井 美樹（大阪府立急性期・総合医療センター 耳鼻咽喉・頭頸部外科 / 医師）
- 5-5 輪状咽頭筋切断術後の長期フォローアップ2症例の検討  
金丸 晶子（東京都健康長寿医療センター リハビリテーション科 / 医師）

2月14日(金) 14:30~15:30

第二会場 [ 中会議場2~4 ]

第6群「基礎」

座長：出江 紳一（東北大学大学院 医工学研究科リハビリテーション医工学分野）

- 6-1 モルモット延髄呼吸中枢における嚥下、咳活動制御様式  
杉山庸一郎（京都府立医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室 / 医師）
- 6-2 咽頭蠕動波の発現機構についての機能生理学的研究  
山口 智（日本医科大学武蔵小杉病院 耳鼻咽喉科 / 医師）
- 6-3 舌圧訓練、頭部拳上訓練における舌骨上筋群の機能評価 ~ 表面筋電図と筋厚による検討 ~  
中平 真矢（高知大学医学部附属病院 / 言語聴覚士）
- 6-4 嚥下時における咬合高径と舌骨上筋群筋活動量の関連性の検討  
坂口 和馬（川崎医療福祉大学大学院 / 言語聴覚士）
- 6-5 舌骨下筋群への経皮的電気刺激が嚥下時舌圧に及ぼす即時効果  
堀 一浩（新潟大学大学院 / 歯科医師）

2月14日(金) 15:30~16:30

第二会場 [ 中会議場2~4 ]

第7群「脳血管障害、嚥下機能評価」

座長：大前 由紀雄（大生水野クリニック 耳鼻咽喉科）

- 7-1 脳卒中急性期の嚥下障害の検討  
岡田 拓朗（東京医科大学 耳鼻咽喉科学講座 / 医師）
- 7-2 脳卒中の疾患別経管離脱・普通食移行状況  
小西 正訓（中村記念病院 耳鼻咽喉科 / 医師）
- 7-3 誤嚥防止術が回避できた若年多発性脳梗塞の1症例  
伊藤 裕之（日本医科大学 耳鼻咽喉科学教室 / 医師）
- 7-4 当院における嚥下内視鏡検査を中心とした嚥下評価の現況  
井口 郁雄（広島市立広島市民病院 耳鼻咽喉科 / 医師）
- 7-5 小児例における嚥下機能評価 —長期観察例の検討—  
井口 貴史（九州大学大学院医学研究院 耳鼻咽喉科 / 医師）

2月14日(金) 16:30~17:30

第二会場 [ 中会議場2~4 ]

第8群「症例」

座長：三枝 英人（日本医科大学付属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科）

- 8-1 舌圧バイオフィードバックによる嚥下訓練が有効であった上顎癌術後患者の一例  
福岡 達之（兵庫医科大学病院 / 言語聴覚士）
- 8-2 甲状腺癌気管浸潤に対して7気管輪を管状切除、端々吻合しLaryngeal Releaseを施行した嚥下障害患者の一例  
大黒 大輔（大阪府立急性期総合医療センター / 言語聴覚士）
- 8-3 良好な嚥下機能を認めた先天性無舌症の一症例  
大戸 弘人（東京慈恵会医科大学 耳鼻咽喉科 / 医師）
- 8-4 気管カニューレの変更手順について - 気管カニューレを装着したCOPD1症例を通して -  
系山 克哉（公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構 倉敷リバーサイド病院 / 言語聴覚士）
- 8-5 嚥下障害に対してリニアステーブラーを用いた喉頭全摘術を行った2症例  
西堀 丈純（岐阜大学 医学部附属病院 耳鼻咽喉科 / 医師）

2月14日(金) 17:30~18:30

第二会場 [ 中会議場2~4 ]

第9群「神経筋疾患」

座長：野崎 園子 (兵庫医療大学 リハビリテーション学部・大学院医療科学研究科)

- 9-1 肥厚性硬膜炎により嚥下障害を来した2症例の検討  
國枝 颯二郎 (聖隷浜松病院 リハビリテーション科 / 医師)
- 9-2 特異な咽頭期の嚥下動態を呈したパーキンソン症候群の1例  
末吉 慎太郎 (公立八女総合病院 耳鼻咽喉科 / 医師)
- 9-3 輪状咽頭筋に局限した筋炎により嚥下障害を来した症例の長期経過  
門園 修 (日本医科大学 耳鼻咽喉科学教室 / 医師)
- 9-4 高齢男性に発症する輪状咽頭筋に局限したミオパチーによる嚥下障害：  
その臨床的特徴と経過について  
三枝 英人 (日本医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 / 医師)
- 9-5 皮膚筋炎治療後に遷延する嚥下障害に対して治療に難渋した一症例  
永積 渉 (日本医科大学付属病院 / 言語聴覚士)

2月15日(土) 9:00~10:00

第一会場 [ 一橋講堂 ]

第10群「外科的治療2」

座長：香取 幸夫 (東北大学大学院医学系研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野)

- 10-1 経口的嚥下機能改善手術の治療効果  
千年 俊一 (久留米大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室 / 医師)
- 10-2 術中透視検査を用いた経口的内視鏡下輪状咽頭筋切断術症例  
藤原 和典 (鳥取大学 医学部 感覚運動医学講座 耳鼻咽喉科頭頸部外科学分野 / 医師)
- 10-3 重度嚥下障害に対して喉頭中央部切除術を行った17例  
河本 愛 (東北大学大学院 医学研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科学講座 / 医師)
- 10-4 予後栄養指数(PNI)による誤嚥防止手術の術前評価  
内田 真哉 (京都第2赤十字病院 耳鼻咽喉科・気管食道外科 / 医師)
- 10-5 軟口蓋挙上不全に対する咽頭後壁注入術の効果  
岩田 義弘 (藤田保健衛生大学 医学部 耳鼻咽喉科 / 医師)



2月15日(土) 10:00~11:00

第一会場 [ 一橋講堂 ]

第11群「高齢者」

座長：巨島 文子(京都第一赤十字病院 リハビリテーション科)

- 11-1 超高齢口腔癌患者における術後摂食・嚥下機能に関する検討  
星野 亜紀(九州大学病院/歯科医師)
- 11-2 嚥下機能改善手術を行ったサルコペニアに伴う重度嚥下障害の一例  
皆木 正人(広島市立広島市民病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科/医師)
- 11-3 急性期病院で有効に治療しえた加齢性の嚥下性肺炎の一例  
山本 圭介(市立豊中病院 耳鼻いんこう科/医師)
- 11-4 頸椎単純レントゲン像から類推する頸椎症患者の嚥下機能  
隅谷 政(和歌山県立医科大学附属病院紀北分院 リハビリテーション科/医師)
- 11-5 高齢者の頸椎弯曲と嚥下機能  
佐藤 公則(久留米大学 医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座/医師)

2月15日(土) 9:00~10:00

第二会場 [ 中会議場2~4 ]

第12群「嚥下機能検査」

座長：田山 二郎(国立国際医療研究センター)

- 12-1 高解像度マノメトリーにより嚥下機能改善手術前後の評価を行った1例  
鮫島 靖浩(熊本大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科/医師)
- 12-2 嚥下造影検査と高解像度マノメトリーとの同時記録による嚥下音の検討  
寺元 洋平(筑波大学/言語聴覚士)
- 12-3 耳内より記録した嚥下音について一嚥下運動の指標としての有用性の検討  
土師 知行(県立広島大学 保健福祉学部 コミュニケーション障害学科/医師)
- 12-4 食道癌術後の舌骨・甲状軟骨の移動距離と食道入口部開大距離の関係  
林 絵美(国際医療福祉大学病院/言語聴覚士)
- 12-5 嚥下造影検査におけるバリウム面積の時間変化の定量化  
山本 敏之(国立精神・神経医療研究センター病院 神経内科/医師)

2月15日(土) 10:00~11:00

第二会場 [ 中会議場2~4 ]

第13群「頭頸部癌3」

座長：中島 格 (久留米大学医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

- 13-1 口腔・中咽頭癌における術後嚥下機能の検討  
菊池 良和 (九州大学 医学部 耳鼻咽喉科 / 医師)
- 13-2 AsRスコアを用いた口腔癌術後嚥下機能の定量的評価  
鈴木 基之 (大阪府立成人病センター 耳鼻咽喉科 / 医師)
- 13-3 舌癌切除後再建症例における舌圧測定について  
濱畑 淳盛 (埼玉県立がんセンター 形成外科 / 医師)
- 13-4 舌喉頭全摘、下口唇全摘、下顎垂全摘となった症例の術後嚥下機能の実際  
安永 能周 (信州大学 医学部 形成再建外科学講座 / 医師)
- 13-5 喉頭摘出後の嚥下動態についての検討  
安達 一雄 (九州大学 医学部 耳鼻咽喉科 頭頸部外科 / 医師)

2月15日(土) 11:00~12:00

第二会場 [ 中会議場2~4 ]

第14群「神経筋疾患2」

座長：山本 敏之 (独立行政法人国立精神・神経医療研究センター 神経内科)

- 14-1 経口摂取が可能となった重症Bickerstaff脳幹脳炎の乳児例  
佐藤 聡 (福島県立医科大学 医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 / 医師)
- 14-2 側頭骨髄炎性一側迷走神経麻痺による嚥下障害が軽快した症例  
森 敏裕 (高松赤十字病院 耳鼻咽喉科 / 医師)
- 14-3 嚥下障害を主訴とした小脳橋角部髄膜腫の1例  
佐藤 哲也 (杏林大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸科 / 医師)
- 14-4 小脳橋角部髄膜腫術後に混合性喉頭麻痺による嚥下障害を起こし治療に難渋した一例  
門野 泉 (名古屋大学医学部附属病院 リハビリテーション部 / 医師)

2月15日(土) 15:00~16:00

座長：唐帆 健浩（杏林大学医学部 耳鼻咽喉科学教室）

- P1-1 (化学)放射線治療後の嚥下動態の解析 - 中・下咽頭癌における広範囲照射例での検討 -  
下野真理子(名古屋大学 耳鼻咽喉科/医師)
- P1-2 頭頸部癌治療後患者に対する摂食・嚥下リハビリテーションの取り組み  
小野 二美(岩手医科大学附属病院/言語聴覚士)
- P1-3 頭頸部癌化学放射線療法に伴う嚥下障害に対する頭部挙上訓練(Shaker法)の有用性  
大峽 慎一(順天堂大学医学部附属順天堂医院 耳鼻咽喉頭頸科/医師)
- P1-4 当科における他科からの嚥下評価依頼の症例についての検討  
北野 睦三(近畿大学 医学部 耳鼻咽喉科/医師)
- P1-5 当院で発足した摂食嚥下チームについて  
野々垣絵羽(愛知医科大学病院 耳鼻咽喉科/医師)
- P1-6 介護保険施設入所者の誤嚥性肺炎について ~ 食事形態と嚥下機能についての検討 ~  
中根 綾子(東京医科歯科大学/歯科医師)
- P1-7 当院における嚥下障害食の形態検討(途中経過)  
山口 優実(九州大学/言語聴覚士)

座長：土師 知行（県立広島大学保健福祉学部 コミュニケーション障害学科）

- P2-1 日本語版嚥下障害ハンディキャップ指標の信頼性と妥当性  
織田 千尋(国立精神・神経医療研究センター病院/言語聴覚士)
- P2-2 重症筋無力症の嚥下障害における舌圧測定、EAT10の有用性  
永見 慎輔(広島市立 広島市民病院/言語聴覚士)
- P2-3 酵素均質浸透法で作製した食品の嚥下障害者への提供に関する研究  
- 健常者の官能評価による検討 -  
長尾 菜緒(浜松市リハビリテーション病院/看護師)
- P2-4 肩甲骨位置による唾液嚥下時の官能の変化  
吉野 透(中伊豆リハビリテーションセンター/理学療法士)
- P2-5 グロトグラフを利用した嚥下運動評価  
畠山 文(新潟大学/歯科医師)
- P2-6 頸部光ファイバーセンサー装着による非侵襲的嚥下運動検知とその有用性の検討  
岩永 健(公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科/医師)
- P2-7 球麻痺型筋萎縮性側索硬化症における嚥下障害の経過  
庄司 仁孝(東京医科歯科大学/言語聴覚士)

- P3-1 深頸部感染症術後の嚥下障害に対し摂食嚥下チーム介入を行なった1例  
田原 晋作（山口大学大学院 医学系研究科 耳鼻咽喉科学分野 / 医師）
- P3-2 髄液動態異常症の是正により嚥下機能が改善した1例  
和座 雅浩（医療法人誠道会 各務原リハビリテーション病院 神経内科 / 医師）
- P3-3 再発舌癌術後に重度の嚥下障害を来し、リハビリテーションに難渋した症例  
橋田 直（大阪府立成人病センター / 言語聴覚士）
- P3-4 放射線晩期障害による嚥下困難をきたした下咽頭癌2症例  
宇野 雅子（川崎医科大学 耳鼻咽喉科 / 医師）
- P3-5 急性期病院での嚥下障害と内視鏡検査の傾向  
竹林 慎治（日本赤十字社和歌山医療センター 耳鼻咽喉科 / 医師）
- P3-6 嚥下内視鏡時に発見された喉頭癌の一例  
福増 一郎（広島市立広島市民病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 / 医師）